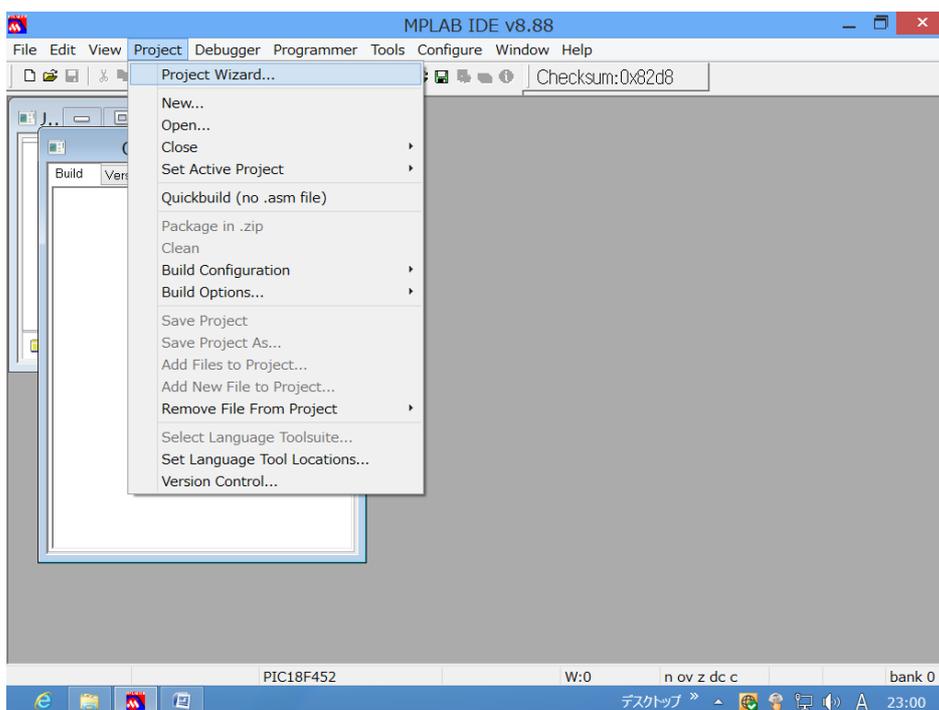
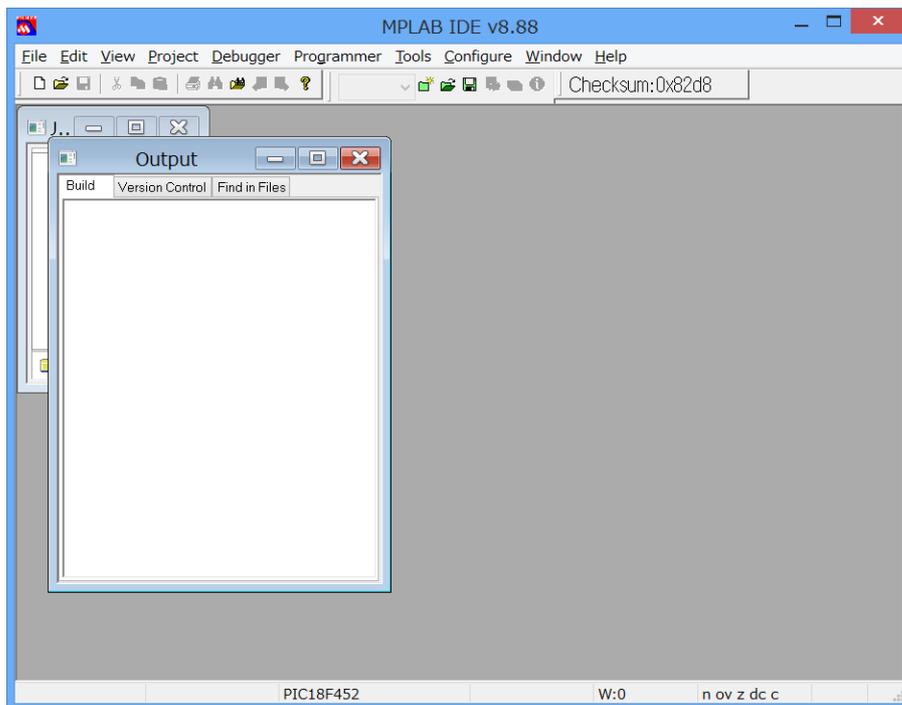
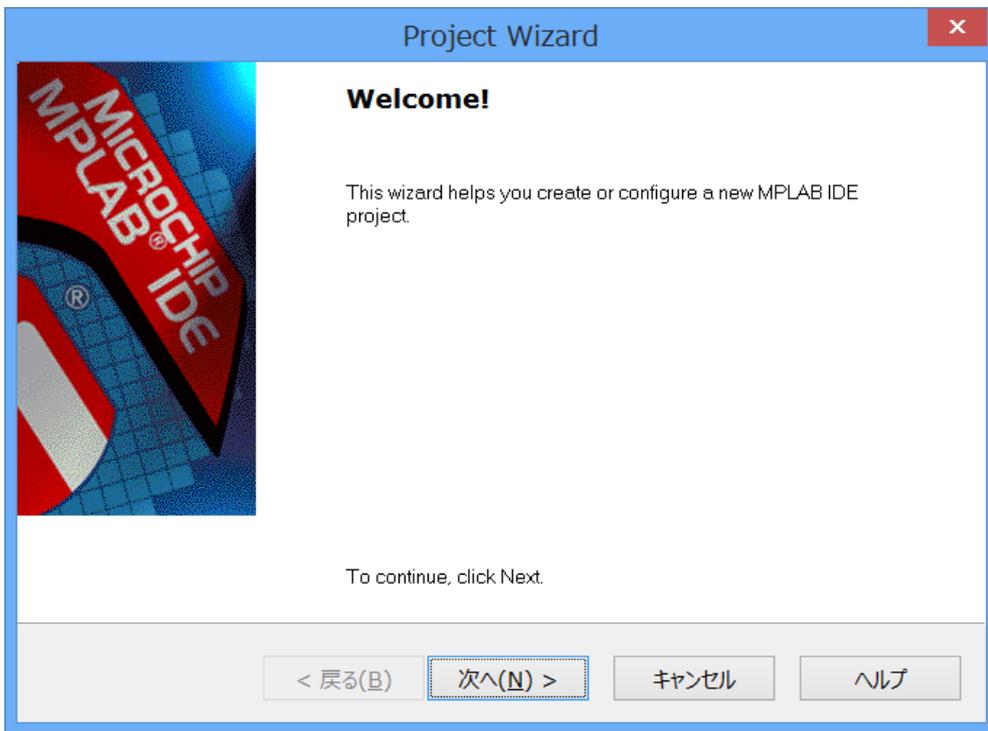


MPLAB での Windows 8 での統合について :

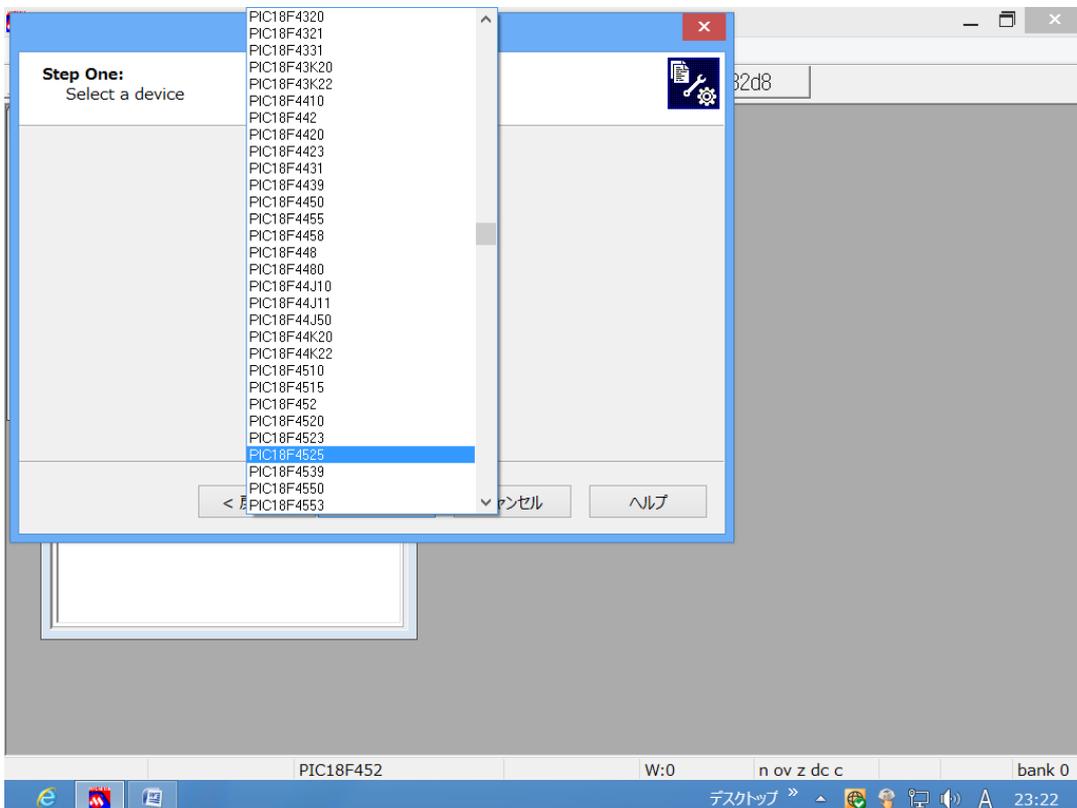
MPLAB IDE Plug-in を任意のフォルダーに保存の上、ダブルクリックでインストールしておいて下さい。 http://www.ccsinfo.com/downloads/setup_mplab_plugin.exe

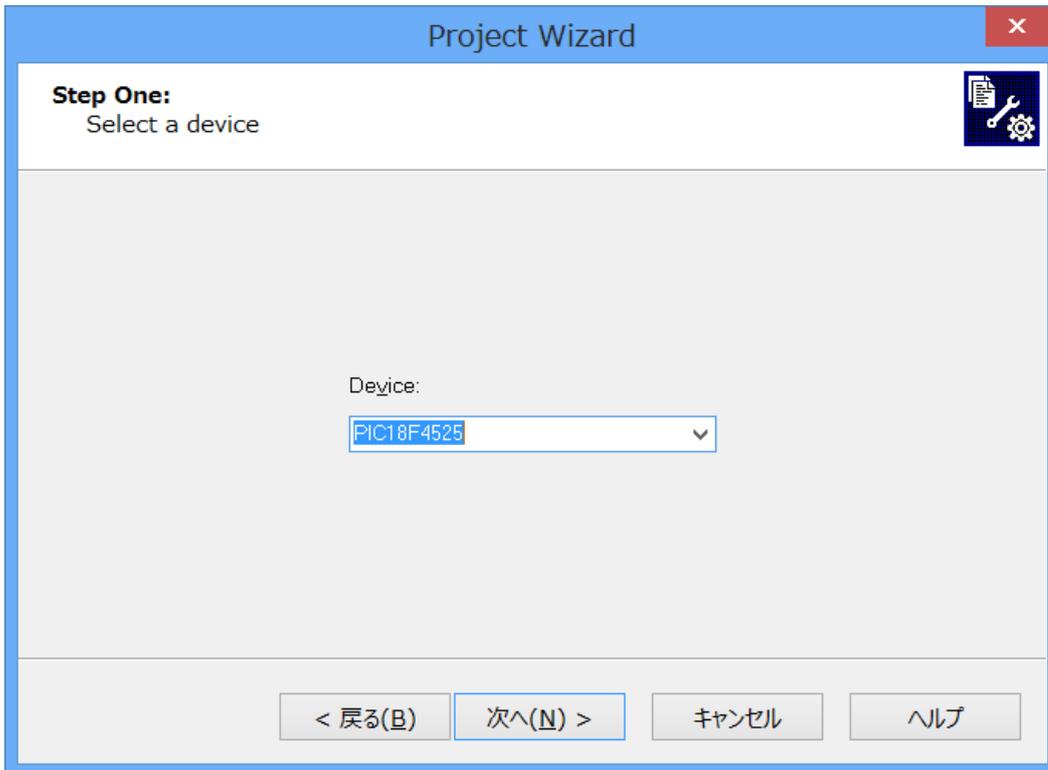
ここでは MPLAB IDE v8.88 を例に説明しています。MPLAB を立ち上げますと以下の画面になりますので、ここで Project -> Project Wizard をクリックします。



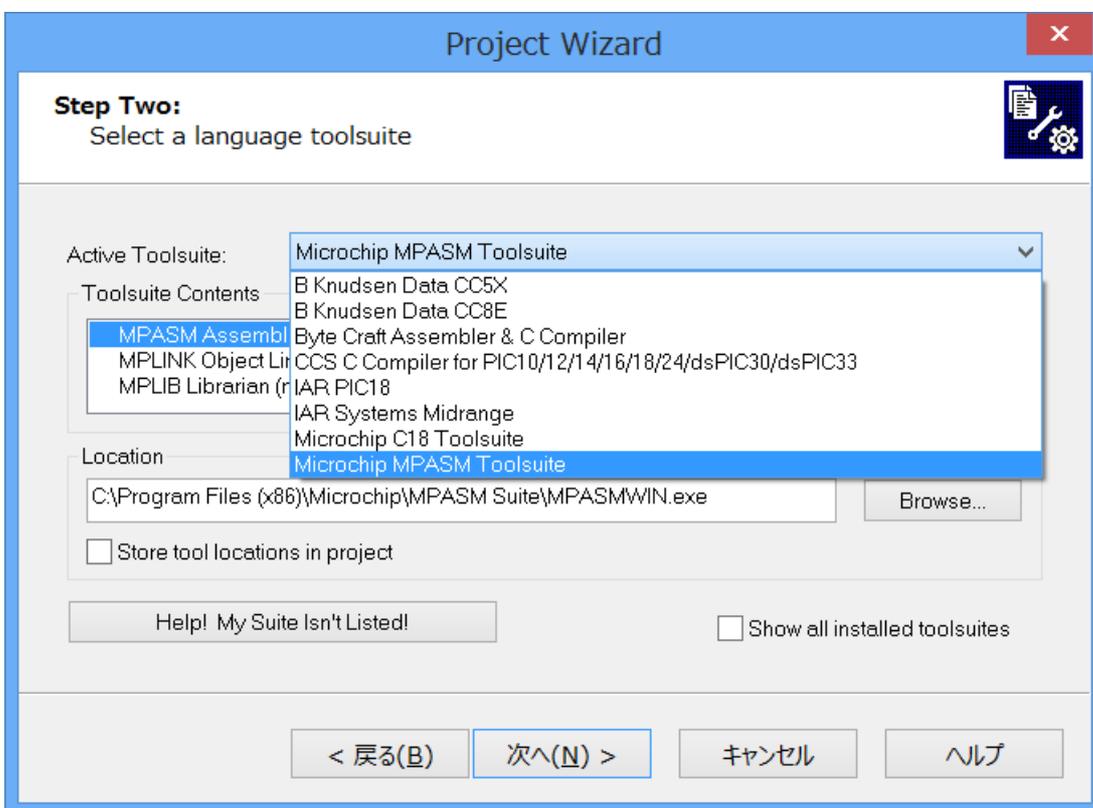


次へ(N)> をクリックして下の画面の様にデバイスを選択します。

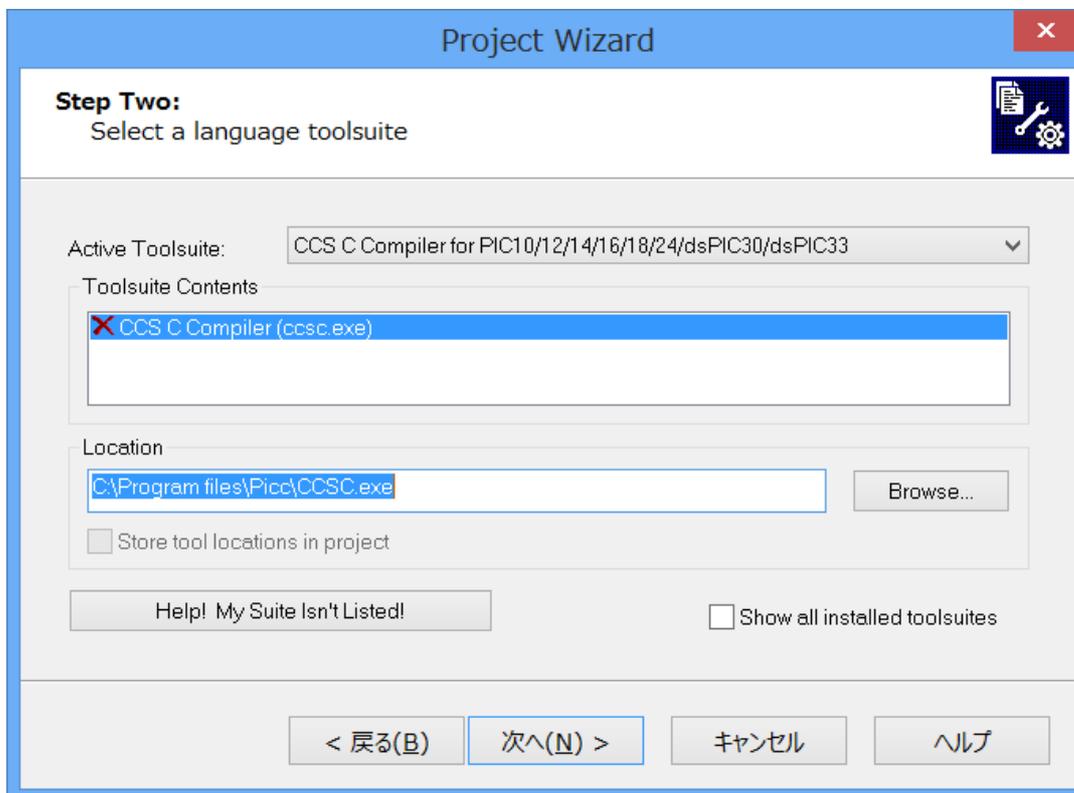




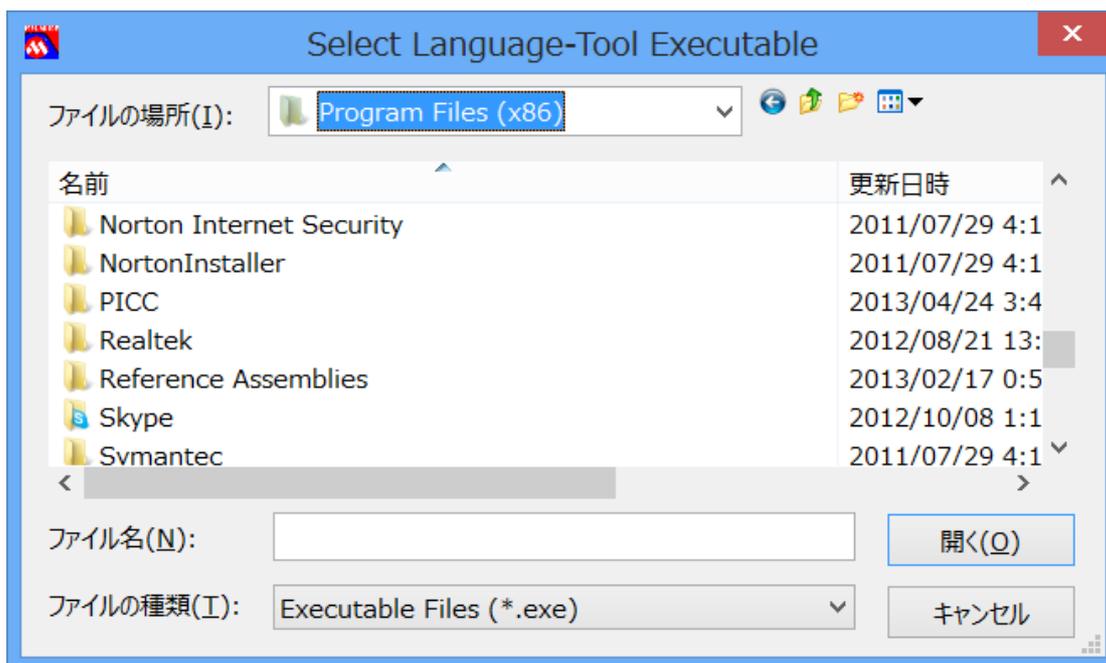
下の様な画面になりますので **Active Toolsuite** のドロップ・ダウンで **CCS C Compiler** を選択して下さい。



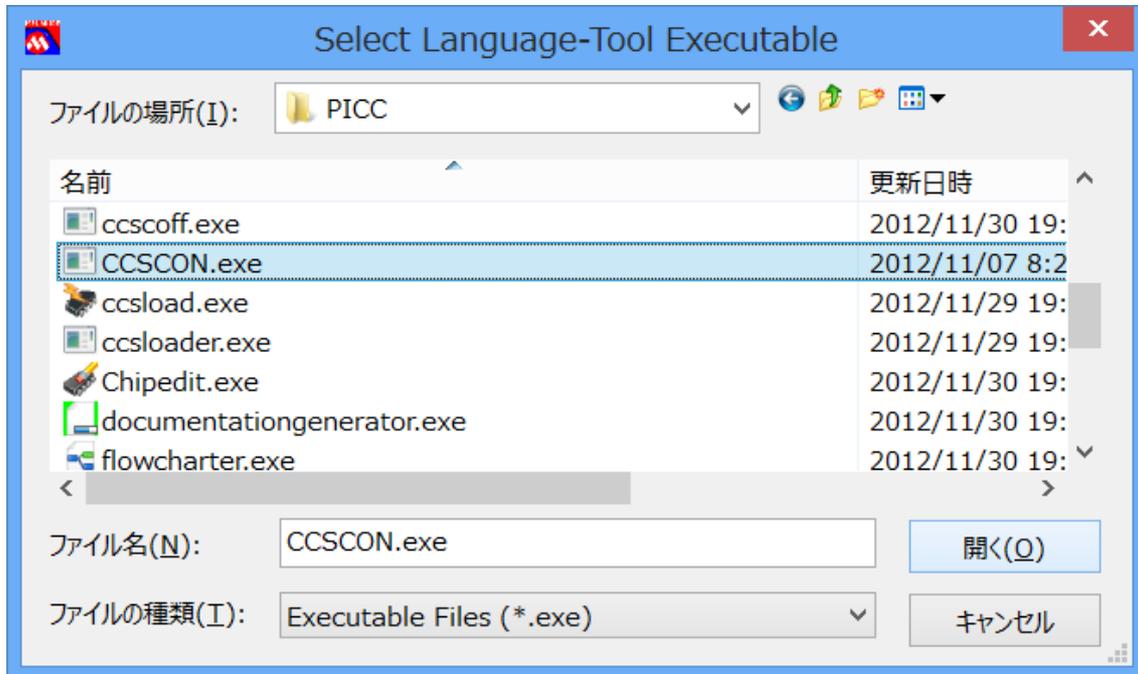
Windows 8 では下の様な画面になりますが、それは Location で正しい場所が選択されていないためですので、Browse をクリックして Windows 8 でインストールされている場所を指定し直して下さい。



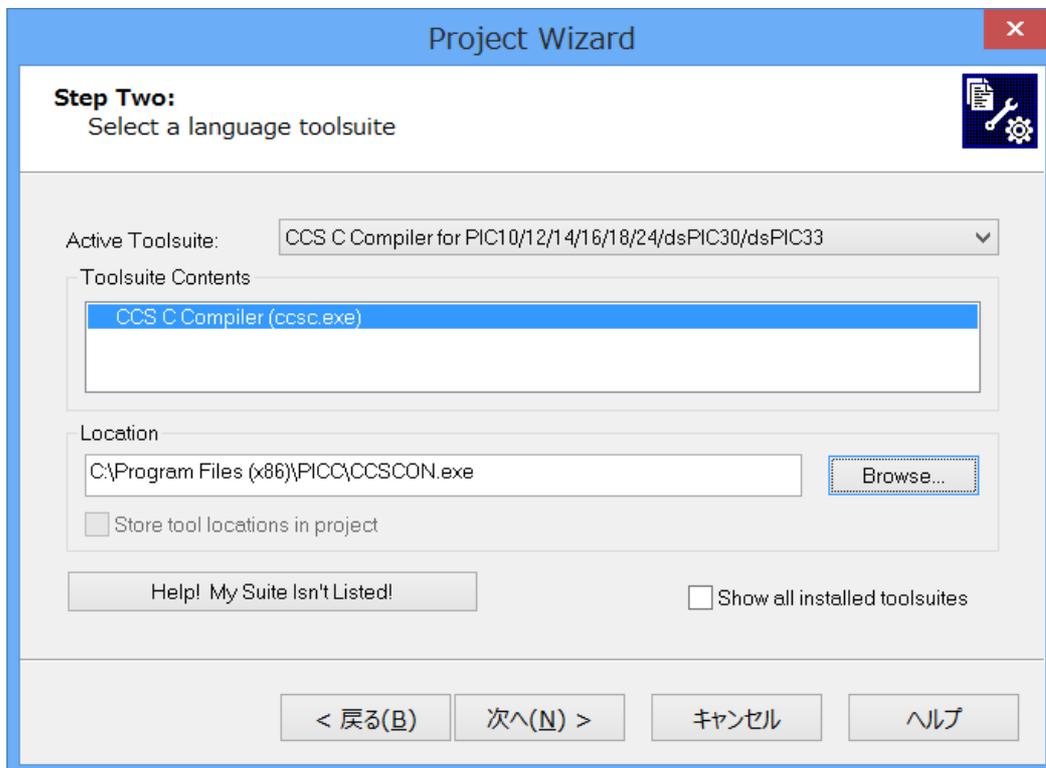
Browse をクリックして Program Files (x86)の PICC にある実行ファイル CCSCON.exe を選択することで正しく認識されます。



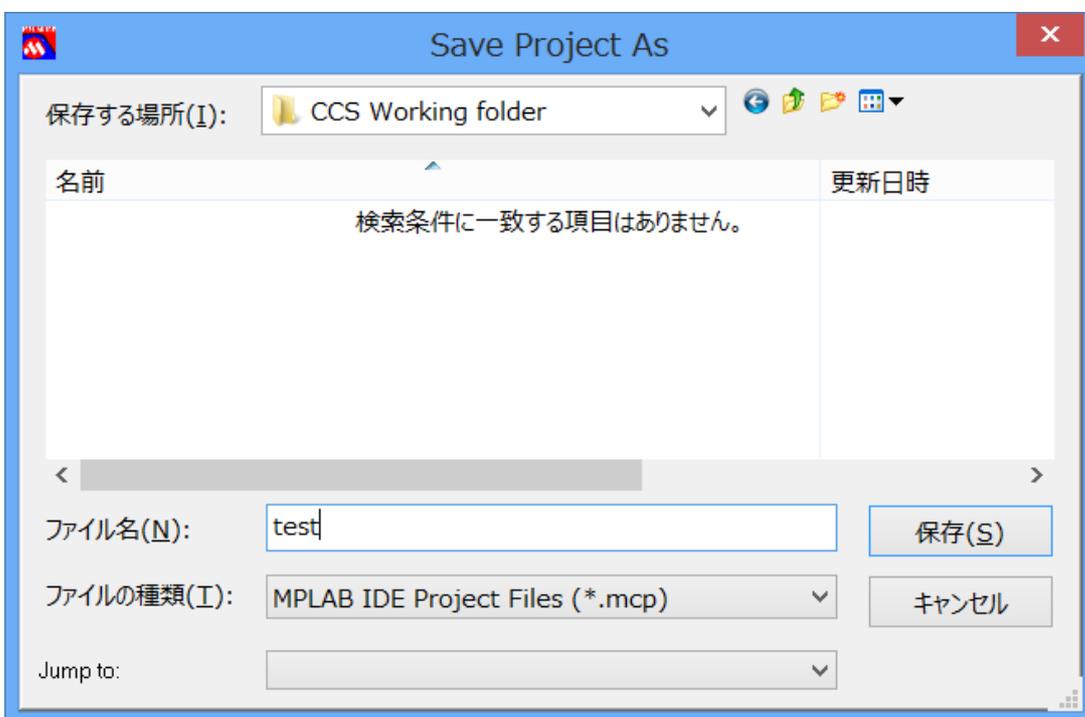
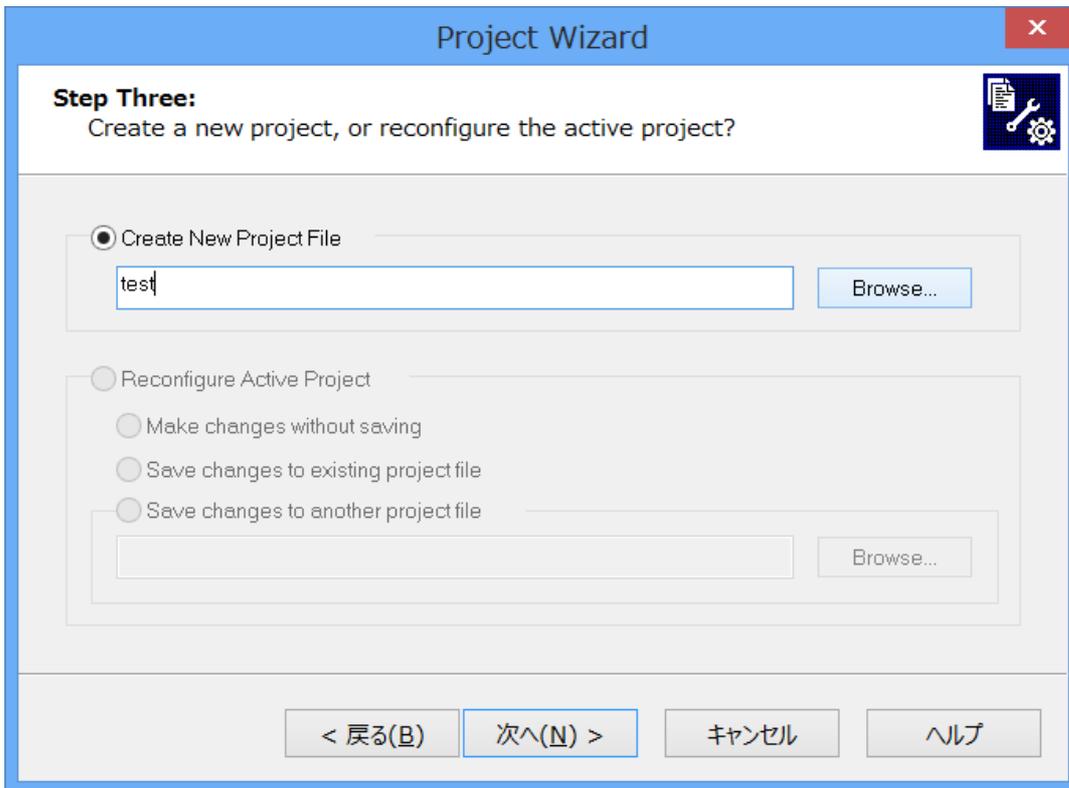
下の画面のようにカーソルを CCSCON.exe の上に移動の上で 開く(O) をクリックして下さい。



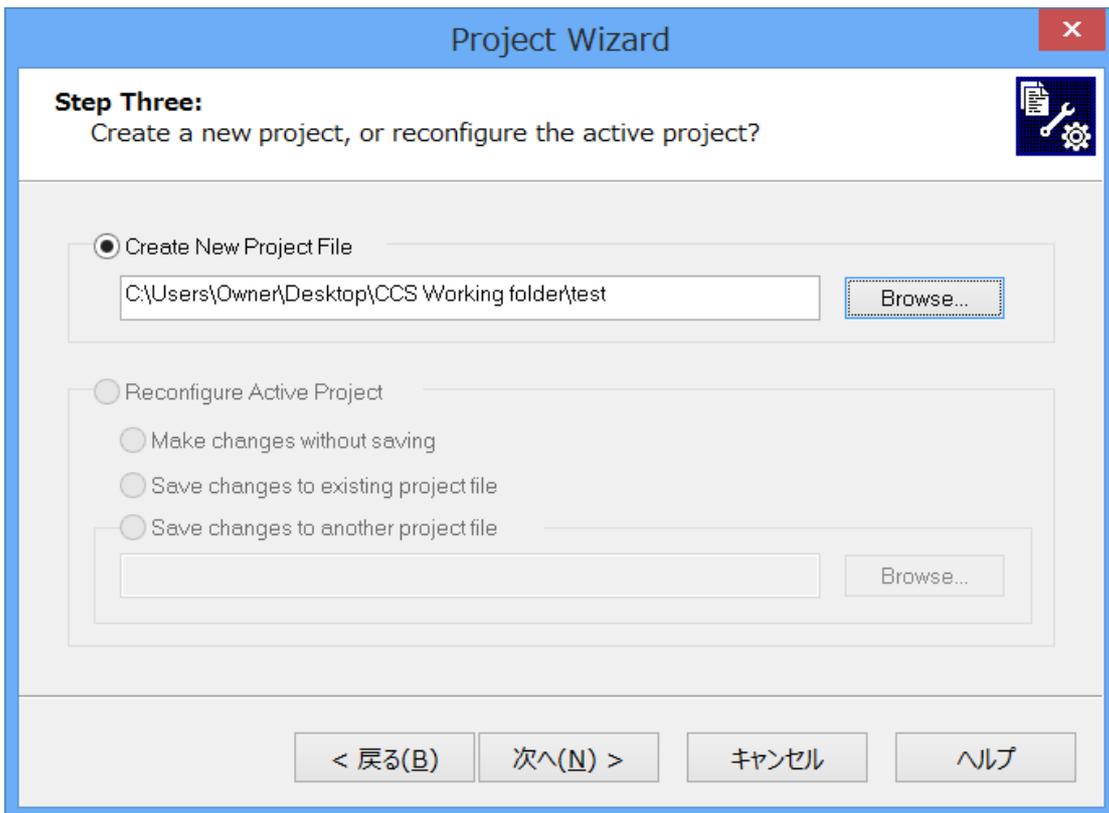
下記画面の様になりますので、次へ(N)> をクリックして下さい。



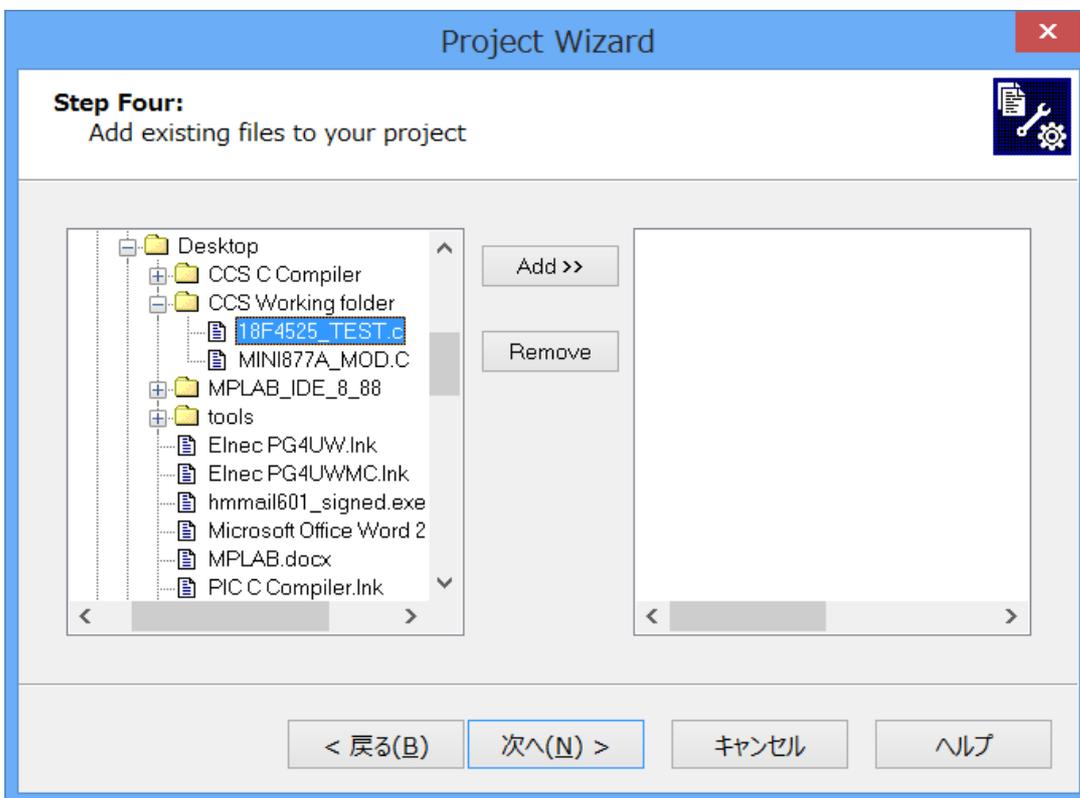
ここで任意のフォルダに Project を作成して下さい。



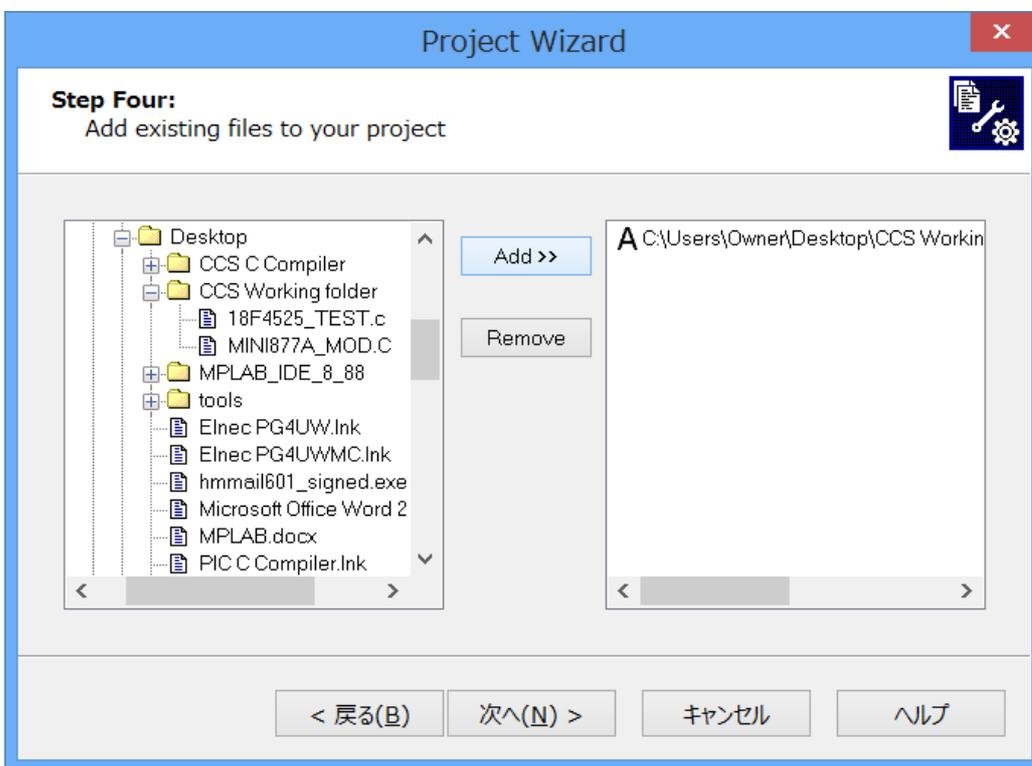
保存(S) をクリックします。



次へ(N)> をクリックしますと下記の画面になりますので、そこでソースの有るフォルダとソース・ファイルをマウスで指定して Add>> をクリックします。

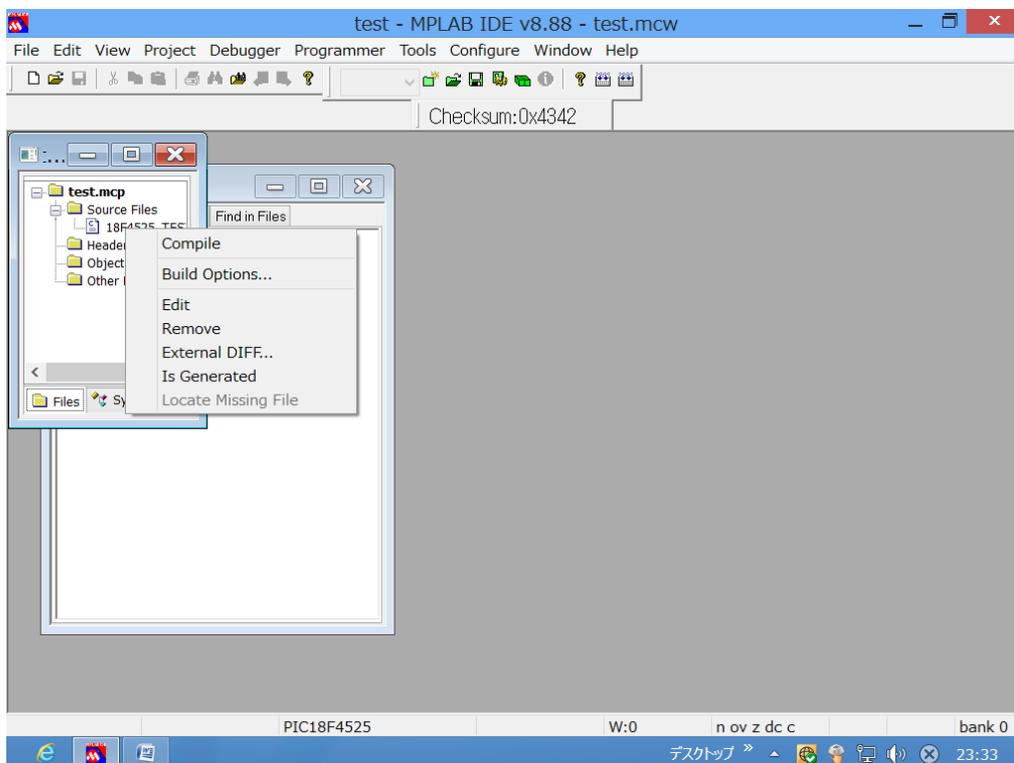
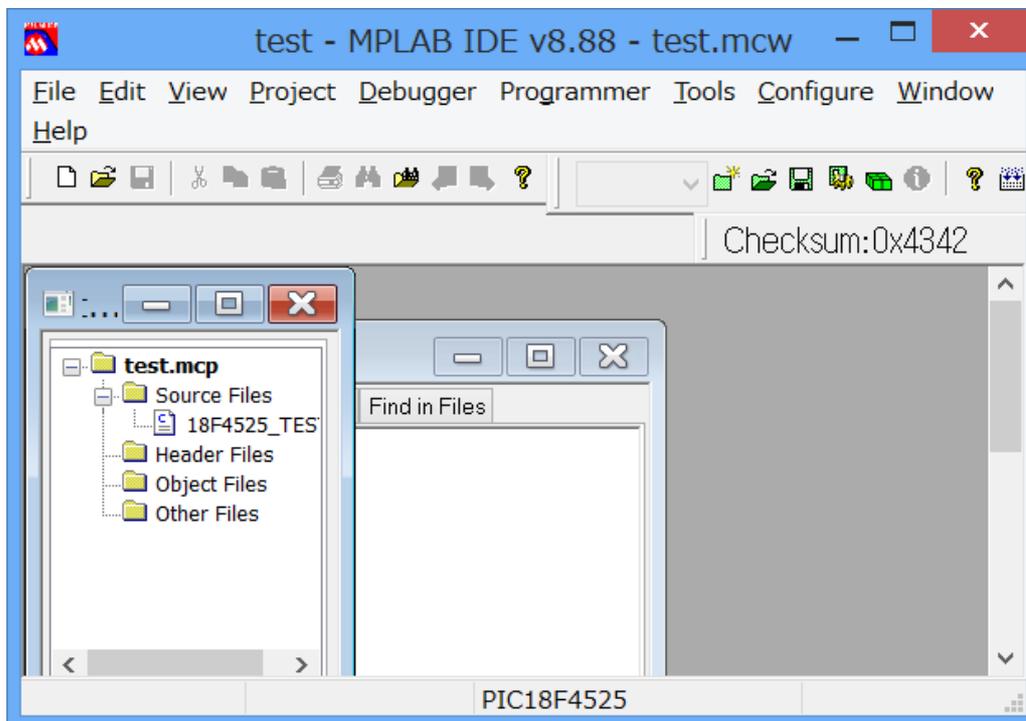


下記の画面の様に右側にそのファイルが表示されますので、次へ(N)> をクリックして下さい。

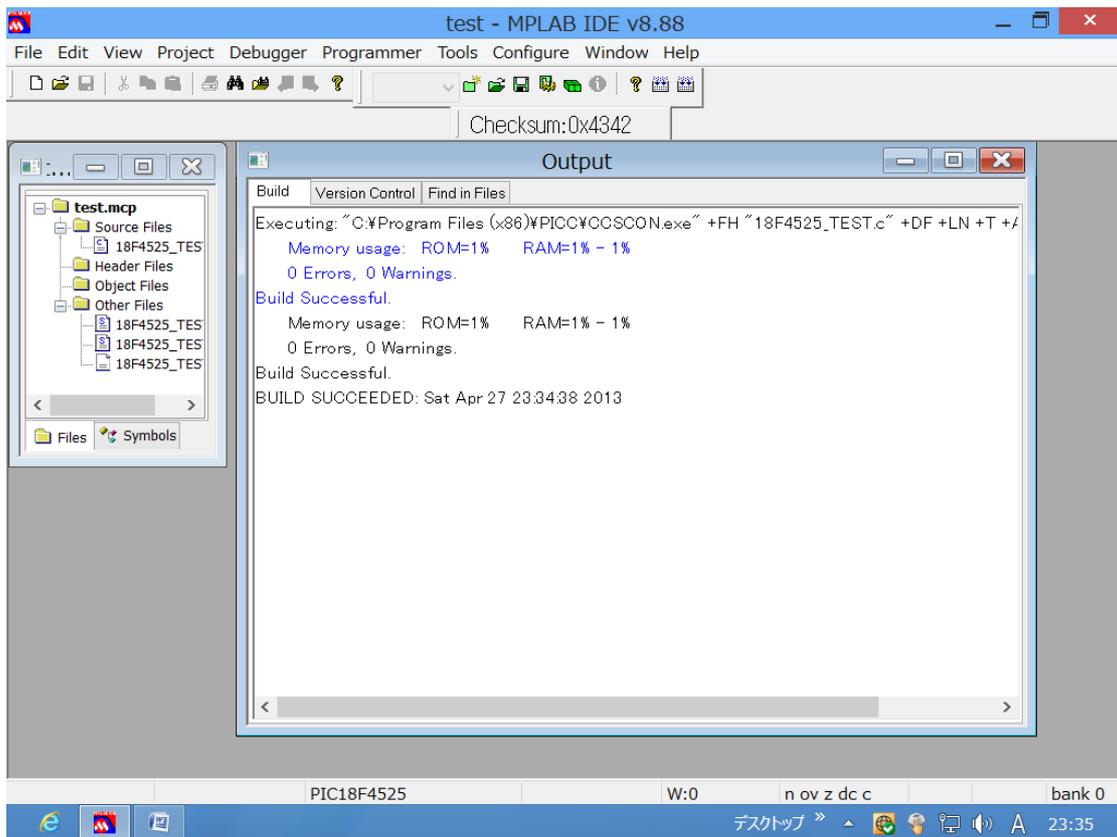


完了をクリックしますと次の様な画面が現れます。

18F4525_TEST.c にマウスを持って行き右クリックしますと、その下の画面の様に Compile が選択出来る様になりますので Compile をクリックします。



一瞬、コンパイルされる画面が表示され消えますが以下にコンパイルされた情報が Output に表示されます。



以上で任意で指定されたフォルダーに各種ファイルが作成されています。